

平成24年4月から 新しい中学校学習指導要領が実施されます

●文部科学省が、平成20年3月に中学校学習指導要領の改訂を行いました。
今回の改訂では、子どもたちに「生きる力」をはぐくむため、授業時数を増加するとともに、言語活動や理数教育、外国語教育、道徳教育などが充実されました。

主な改善点は

◎授業時数が増加します。

○国語・社会・数学・理科・保健体育・外国語の授業時数が3年間で約1割増加します。

○週あたりの授業時間数が各学年で週1時間増加します。

授業時数の増加は、「詰め込み教育」への転換ではなく、主に次の学習を充実するために行うものです。

①つまずきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習

②知識・技能を活用する学習（観察・実験やレポート作成、論述など）

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技・家	外国語	道徳	総合	特活	選択 教科	合計
1年生	新	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1.4	1	—	29
	現行	4	3	3	3	1.3	1.3	2.6	2	3	1	2~2.9	1	0~0.9	28
2年生	新	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	1	—	29
	現行	3	3	3	3	1	1	2.6	2	3	1	2~3	1	1.4~2.4	28
3年生	新	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	2	1	—	29
	現行	3	2.4	3	2.3	1	1	2.6	1	3	1	2~3.7	1	3~4.7	28
 は増加する教科 数字は1週間当たりの標準授業時数															
合計 時間数※	新	385	350	385	385	115	115	315	175	420	105	190	105	—	3045
	現行	350	295	315	290	115	115	270	175	315	105	210 2~335	105	155 1~280	2940
※3年間の合計標準授業時数（1単位時間は50分、授業は年間35週）															

◎国語をはじめ各教科等で、記録、説明、批評、論述、討論などの言語を使った活動を行い、全ての教科等で言語の力をはぐくみます。

◎保健体育の時間に男女とも武道を必修にするなど、伝統や文化に関する教育を充実します。

◎道徳の時間等で、子どもの発達に応じて、あいさつ、規範意識、自他の生命の尊重、社会への主体的な参画などについて指導します。

社会全体で「生きる力」をはぐくむために

家庭をはじめとして、社会全体で、子どもたちの「生きる力」をはぐくんでいくことにご理解とご協力をお願いします。

みなさんのご家庭ではいかがですか？

- 学校での出来事について子どもと話をしている
- 「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつをしている
- 早寝早起きを心がけている
- 子どもは毎日朝食を食べている
- 子どもが手伝う家事の分担を決めている
- 家で読書や勉強する時間をとっている
- 子どもと一緒に地域の活動に参加したことがある